

# ポルトガル・リスボン大学教授 来市 (2024年3月31日)

ポルトガル・リスボン大学のクリスティーナ・カステル＝ブランコ教授が、ルイス・ド・アルメイダの名を冠する大分市医師会立アルメイダ病院を訪問し、白鳥院長に面会しました。また、大分市文化財課の職員と、当協会の会員である大分県立芸術文化短期大学の疇谷教授の協力を得て、南蛮BVNGO交流館や遊歩公園など、ポルトガルと関連のある場所を視察しました。

ブランコ教授は、日本庭園の研究をされており、大友氏館跡庭園では、植物の選定方法や池の周囲に配置されている石の保存方法などについて職員に質問していました。



(アルメイダ病院)

左 : 杉村 大分日本ポルトガル協会会長  
中央 : ブランコ教授  
右 : 白鳥 アルメイダ病院長



(南蛮BVNGO交流館)



(大友氏館跡庭園)



(遊歩公園・育児院と牛乳の記念碑)



(遊歩公園・西洋美術発祥記念像)



(遊歩公園・伊東ドン・マンショ像)